平成25年7月11日発行（毎月6回1、5、11、15、21、25日の発行）ＯＴＫ通巻第4522号　昭和51年9月7日　第三種郵便物認可

OTK
支える
No.84

大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児者を守る会
大阪支部

守る会三原則

★決して争ってはいけない　争いの中に弱いものの生きる場はない
★親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超えること
★最も弱いものを一人ももれ無く守る

第二十回　定期総会・交流会　～子の想い、親の願い～

第二十回定期総会

六月七日、早川福祉会館（大阪市東住吉区）におきまして平成二十五年度大阪府重症心身障害児・者を支える会、全国重症心身障害児者を守る会大阪支部の第二十回定期総会が開催されました。

支える会・会長の開会の挨拶に続き、来賓の大阪府、大阪市、堺市よりご挨拶をいただきました。ご欠席の西　治近畿ブロック長からは電報を頂戴いたしました。

平成二十四年度の活動をビデオ上映した後、議事に入りました。

平成二十四年度事業報告、会計報告、会計監査報告、役員選任、そして平成二十五年度事業計画、収支予算のすべての審議がなされ、会員の皆様の承認を受けました。寺岡冨子運営委員の閉会の挨拶をもって滞りなく終了いたしました。

交流会

定期総会の後、軽食をとりながら「子の想い、親の願い」と題して施設入所会員、在宅会員に分かれ『現状と希望』をテーマに話し合いをしました。

在宅のグループでは当事者、その家族の他に施設職員、介護職員なども交えての交流会でした。多くのご家族が親の高齢化による介護の困難さを経験しており、また介護職員の不足で必要十分な支援を依頼することができない現状もあります。今後、支援計画の作成においても重症心身障害児者への適切なプランの作成ができるのかなどの意見もでました。

親亡き後、成年後見制度を利用し自宅で暮らし続けるためには何が必要なのか、また施設入所を希望した時に入所できる施設があるのかなど多くの問題点が出されました。

このような現状にも直接声をあげることが困難な重症心身障害児者とともに、支える会で大きな「声」となるよう活動を続けていかなければと感じました。

平成25年7月11日発行（毎月6回1、5、11、15、21、25日の発行）ＯＴＫ通巻第4522号　昭和51年9月7日　第三種郵便物認可

予告

全国重症心身障害児（者）を守る会大阪支部
大阪府重症心身障害児・者を支える会
「支える会」結成20周年記念講演会

日時：**平成２５年１１月１９日（火）**
会場：**大阪市中央公会堂　大集会室**
講師：**渡部　陽一　氏**

※ 重症児者の写真展同時開催予定

全国重症心身障害児（者）を守る会
◇◇　近畿ブロック専門部会議開催のご案内　◇◇

日　時：**平成２５年８月１０日（土）**　13:00～16:00
場　所：**京都　コミュニティ嵯峨野**
内　容：４専門部会に分かれてテーマを討議、最後に全体会で部会長がまとめ報告他

○重症児施設部会
①利用者により楽しい（豊かな）生活をさせるには
②福祉サービスの地域行政移行による課題と問題

○在宅部会
①１８歳を過ぎた重症心身障害者の受診について
小児科医から内科医等の専門医を進められる傾向がある、スムーズに移行するにはどうすればよいか

○国立施設部会
①福祉サービスの地域行政移行による課題と問題
②病棟建て替え後の課題と問題
③在宅重症児（者）の支援強化策について
（１週間単位のショートステイ・医療支援等について）

○母親部会
①成年後見人について（医療問題も含め）

◎ 参加費：　無　料
◎ 参加希望の方は、事務局までお問い合せ下さい。
◎ 締め切り：　７月３０日（火）

編集後記

重い障害をもつ人たちが、地域に中で暮らし続けられる施策が必要と叫び続けて参りました。

しかし、親・家族がいてこそ成り立っている地域での生活です。

親を看取り一人になった後も地域での生活が保障される世の中になって欲しいと思います。

人として、他のたくさんの人たちと同じように〝生きてきて良かった〟と思い、人生をまっとうできます様に願ってやみません。

編集委員一同

編集・責任者
（事務局）〒五四五―〇〇二一
大阪府大阪市阿倍野区阪南町五―一五―二八
育徳コミュニティーセンター２Ｆ
ＴＥＬ　〇六―六六二四―二五五五
ＦＡＸ　〇六―六六二四―二五五六
運営委員長　山村　寿子
郵便振替口座　〇〇九三〇―九―六九五九八
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所
大阪身体障害者団体定期刊行物協会
〒五三〇―〇〇五四
大阪市北区南森町二―三―二〇―五〇七
定価　五〇円
（会員の方は会費の中に含まれています）

平成二四年度事業報告

経済並びに政権も含めて、様々に大きく揺れ動いた一年でしたが、重症心身障害児者にとっての施策はどれだけ進んだのでしょうか。

本年、大阪府障がい者自立支援協議会重症心身障がい児(者)地域ケアシステム検討部会に参加し、平成二三年度に実施した調査を元に検討を進め、ようやく報告書がまとめられました。重症心身障がい児者、とりわけ医療的ケアが必要な方々の地域における暮らしを支えるシステムの構築については、多方面にわたるネットワークと協力体制が不可欠であると思いますが、より困難な状況にある方にとっての福祉(支援)を充実させるためには、それに応じた財政的負担を含めた施策への理解と覚悟が必要であるということを強く感じるところです。

また、より困難な状況にある方々の施策に正面から取り組む姿勢を持つことこそが、今後の様々な課題を解決・改善していける道筋であると信じます。その意味において、大阪府におけるこうした取り組みが行われていることに大きな期待をすると共に、あらためて、本会においても、意見の集約を迅速に行えるようにするためのしくみ作りの必要性を痛感するところです。

本年度の活動の中で、十分に出来なかったホームページの充実のための取り組みや情報発信のための活動について、あらためて検討した上で、さらなる活動の展開が望まれるところです。

1. 会員の拡大のための事業
・ホームページの充実
・パンフレットの配布、会員にむけた勉強会等を開催

2. 講演会・研修会
・記念講演会（定期総会）
『“今後の”重症心身障害児者施設の在り方』
～地域支援について～
平成二四年六月八日（於：大阪市中央公会堂）
・支える会セミナー
『私たちが求めたもの』
～［郷］開設の経緯とこれから～
平成二五年一月二六日
（於：大阪市社会福祉研修・情報センター）

3. 研究等に関する事業
・施設見学［枚方総合発達療育センター］
平成二四年一一月一五日

4. 交流事業
・療育キャンプ「大山（鳥取）」
平成二四年一〇月二七・二八日
＊ＪＫＡ競輪補助事業（本部経由）
・クリスマス会
平成二四年一二月一五日（於：早川福祉会館）

5. 啓発事業
・ＯＤＦ、ＳＤＦへの参加、協力
・「地域に広がれ！医療的ケア」連絡会協力
・「ラーの会」参加
・重症児者の地域ケアシステム検討部会への参画
・「重症児者の拠点作りの会」（北摂）協力

6. 機関紙の発刊
・機関紙「支える」を年間計5回発行

月別活動報告

平成二四年四月
運営委員会（一六日）
正・副会議（九日）
機関紙「支える」七九号発行（三〇日）
五月
運営委員会（一四日）
六月
運営委員会（四日）
正・副会議（一六日）
第一九回定期総会・記念講演会（八日）
大阪ゆとりライオンズクラブ様からの
支援金贈呈式と交流会（一八日）
七月
運営委員会（二三日）
八月
機関紙「支える」八〇号発行（三日）
九月
運営委員会（一〇日）
一〇月
運営委員会（一五日）
機関紙「支える」八一号発行（二五日）
集団指導療育キャンプ（二七日～二八日）
意見交換会［地域ケアシステム］
（二日・二三日）

次のページへ続く

交流会　「子の想い、親の願い」

～ 在宅の部 ～　　２１名の参加

老若男女、それぞれの今の気持ち、同じ立場の方に聞いてみたいということで色々な話題がでました。

・個別支援計画については、それぞれの障がい特性を知った相談員の必要性が挙げられた。
・障がいのある子どもを持つ家庭を医療・福祉・教育等の関係機関がコーディネートしてもらえる環境を整えること。その為には、親の方も正しい制度やルールをよく知ることが必要。感情だけでは、周囲からの支えを得るのは難しい。
・地域で暮らしていくには、まだまだ環境作りが必要。今ある制度を利用しつつ、ない制度を支える会の要望として関係機関に訴えていくことも必要だと考えられる。
・障がいのある子どもの将来だけではなく、兄弟姉妹の人生も考える
・本当に本人が思っていることを親がくみとれているとは限らない。
・制度や何か施策を行う時には、もっと本人の意見を聞いていただきたいと思う。
・現在、将来在宅か入所か・・という質問に在宅、ケアホーム、入所という順で在宅を希望されている方が多かった。

学校を卒業してしまうとなかなか他の方との交流が少なるので今回のような交流会に参加出来てよかったとの声もありました。

～ 施設の部 ～

親・兄弟・くらしの場の職員合わせて１０名が参加しました。

一番の悩みは、親・兄弟の亡き後が不安である事でした。親・兄弟が健在の間に、安心出来る第三者後見人の選定をどのようにすれば良いのか、また団体後見が出来る事業所があれば、財産管理と施設に対して身上監護の役目を担ってもらえるのではないか。そして、役所への提出書類が毎年数通あり負担を感じるので代行して欲しい等、様々な意見が出されました。

現実的な事として、痛いとか不都合とか辛いとか言えない重症心身障害児・者はモニターのアラームに頼るだけでなく、看護師・介護士の一人ひとりの観察力を磨いて、表情の変化等を察知して対応して欲しいと意見が出ました。

また、ショートスティは地域支援する必要な事業だが、職員体制が入所者対象の配置の中で対応しているため、職員の負担が大きい上入所者の看護・療育が手薄になりがちである。入所者のＱＯＬを守るため、ショートスティに加算が出るよう行政に要望して欲しい等の意見が出ました。

2012年度（平成24年度） 収支決算報告書

自2012.4.1至2013.3.31

収入の部 科目	金額	支出の部 科目	金額
41会費収入	1,078,200	31事務費支出	818,704
01正会員会費収入	1,012,200	01職員給与	0
02協力会員会費収入	66,000	02職員諸手当	0
42寄付金収入	668,800	03賃金	0
01寄付金収入	668,800	04法定福利費	0
43事業収入	472,500	05旅費	127,760
01バザー収入	0	06消耗品費	15,225
02その他の事業収入	472,500	07器具什器費	5,500
44補助金収入	0	08印刷製本費	158,778
01地方公共団体補助金収入	0	09賃借料	360,000
02公益事業補助金収入	0	10会議費	49,511
45本部助成金収入	525,333	11修繕費	0
01本部助成金収入	525,333	12通信運搬費	77,015
46雑収入	190	13手数料	13,185
01雑収入	190	14雑費	11,730
47設備資金借入金収入	0		
01設備資金借入金収入	0	32事業費支出	1,517,550
48引当金戻入	0	01研修会開催費	369,425
01修繕引当金戻入	0	02レクリエーション活動費	1,041,287
02備品等購入引当金戻入	0	03分会活動費	0
03人件費引当金戻入	0	04調査啓発事業費	10,000
49積立金戻入	0	05機関紙出版費	96,838
01建設積立金戻入	0	06その他の事業費	0
02その他の積立金戻入	0		
		33本部会費	576,400
		01本部会費	576,400
		34近畿ブロック会費	34,000
		01近畿ブロック会費	34,000
		35雑支出	13,000
		01慶弔費	13,000
		02雑支出	0
		36積立金繰入	0
		01建設積立金繰入	0
		02その他の積立金繰入	0
		37引当金繰入	0
		01修繕引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金繰入	0
当期収入額計	2,745,023	当期支出額計	2,959,654
前期繰越金	904,236	当期繰越金	689,605
収入合計	3,649,259	支出合計	3,649,259

会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

＜問い合わせ＞
ＴＥＬ ０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ ０６－６６２４－２５５６

＜郵便振替＞
００９３０－９－６９５９８
大阪府重症心身障害児・者を支える会

前のページの続き

一一月
運営委員会（七日）
施設見学「枚方総合発達療育センター」（一五日）
意見交換会〔地域ケアシステム〕（二〇日）

一二月
運営委員会（一〇日）
機関紙「支える」八二号発行（二五日）

平成二五年一月
運営委員会（二一日）
「支える会セミナー」開催（二六日）

二月
運営委員会（一八日）

三月
運営委員会（一八日）
機関紙「支える」八三号発行（二二日）

守る会関係

近畿ブロック役員会
平成二四年 四月 七日 コミュニティ嵯峨野
平成二四年 六月三〇日・七月一日 コミュニティ嵯峨野
平成二四年一〇月 六日 コミュニティ嵯峨野
平成二四年一二月 一日 コミュニティ嵯峨野
平成二五年 二月 九日 コミュニティ嵯峨野

全国大会
平成二四年 七月一六日・一七日
千葉県千葉市（東京ベイ幕張）

近畿ブロック四専門部会
平成二四年 九月 一日 コミュニティ嵯峨野

近畿ブロック研修会
平成二四年一一月二三日
滋賀県（立命館大学草津キャンパス）

支部長会議
平成二四年 五月二七日 「守る会」本部
平成二五年 二月 二日・三日 「守る会」本部

専門部会長会議
平成二四年 九月 八日・九日 「守る会」本部

新任支部長及び会員研修会
平成二五年 二月 一日 「守る会」本部

「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会（全国重症心身障害児（者）を守る会の大阪支部）への入会についてご案内いたします。

【個人会員】 **◎年会費 8,400円**
本部発行「両親の集い」、本会発行「支える」購読料含む
◎年会費 3,600円
本会発行「支える」購読料含む

【法人・団体会員】 **◎年会費 10,000円**（１口）
本部発行「両親の集い」、本会発行「支える」購読料含む

【協力会員】 **◎年会費 3,000円**（１口）（運営資金の協力会員）
本会発行「支える」購読料含む

☆申込み・問い合わせは事務局までお願いします

平成二五年度事業計画

基本方針

重度の障害を持っていても一人の人間としての人格と個性を持っていることを認識し、重症心身障害児・者が、当たり前の人として、当たり前の生活を続けられることを支えていく。

活動方針

本年より、障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）へ移行することとなりました。これまでの重度の障害児者の福祉施策が果たして前進しているのかを注視しつつ、医療的ケアが必要な方を含めて、より困難な状況にある方々への支援が充実したものになるように制度の見直しに向けて働きかけていく必要があるとともに、それに向けて力を結集する必要があると考えます。

昨年、堺市においては「重症心身障害者（児）支援センター　ベルデさかい」が開所し、大阪市においては「重症心身障がい児者等医療型短期入所事業」を本年より実施することとなりました。大阪府においても、大阪府障害者自立支援協議会の中において設置された「重症心身障がい児（者）地域ケアシステム検討部会」において、報告書がまとめられ、今後その提言の具体化に向けた検討が行われようとしています。内容等については、まだまだ課題や不十分さも指摘されるところですが、何より、困難な課題に取り組むことが重要であるとともに、本人を中心にした支援のあり方を模索し続けることが大切であると考えます。

また、現在、障害者差別解消法が審議されています。その効力を発揮するためにも、障害がある方がどのような状況にあるかを多くの方々に理解してもらうための活動を積極的に行なっていくことが、とりわけ重度の知的障害があり、自己主張が難しい人たちの暮らしを支えたいと願う私たちの重要な役割であると思います。

こうしたことを踏まえ、本年は、支部結成二〇周年を迎える節目の年として、今後の活動の飛躍の年となるよう積極的に取り組んでまいります。

事業計画

1．会員拡大のための事業
・ホームページの充実（再構築、協力団体との連携等）
・パンフレットの配布、会員にむけた勉強会の開催

2．講演会・研修会
・「医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム」（仮）
～重症児者地域ケアシステム検討より～
平成二五年九月（未定）
会場：未定
＊他団体との共催または実行委員会形式による開催
講師：未定
・支える会セミナー
「成年後見について」（仮題）
～導入から実施まで～
平成二五年一二月（未定）
会場：未定
講師：未定
・「支える会」結成二〇周年記念講演会
平成二五年一一月一九日（火）
会場：大阪市中央公会堂　大集会室
講師：渡部　陽一氏
・会員相互による勉強会等
・交流会
「子の想い親の願い　～現状と希望～」
平成二五年六月七日（総会終了後）
・施設見学
平成二五年八月（場所：未定）

3．交流事業
・一泊旅行　場所・日程　未定＊
・クリスマス会　平成二五年一二月
会場：未定
・ＯＤＦ・ＳＤＦ参加

4．行政との連携事業
・大阪府障がい者自立支援協議会
「重症心身障がい児（者）地域ケアシステム検討部会」参加

5．広報活動事業
・機関紙「支える」の発刊（年４回予定）
・ホームページの運営

6．結成二〇周年記念事業
・記念誌の発刊
・記念講演会（前掲）
・写真展の開催（講演会との同時開催を検討）

次のページへ続く

前のページの続き

月別活動計画

平成二五年四月
運営委員会
正・副会議
五月
運営委員会
六月
運営委員会
第二〇回定期総会・交流会
正・副会議
七月
運営委員会
機関紙「支える」発行
八月
運営委員会
施設見学
九月
運営委員会
正・副会議
一〇月
運営委員会
一泊旅行
機関紙「支える」発行
一一月
運営委員会
結成二〇周年記念講演会・記念誌発行
一二月
運営委員会
支える会セミナー「成年後見について」開催
正・副会議
クリスマス会
平成二六年一月
運営委員会
機関紙「支える」発行
二月
運営委員会
三月
運営委員会
機関紙「支える」発行

守る会関係

近畿ブロック役員会
平成二五年　五月　四日　コミュニティ嵯峨野
平成二五年　七月　六日　コミュニティ嵯峨野
平成二五年一〇月　五日　コミュニティ嵯峨野
平成二五年一二月　八日　コミュニティ嵯峨野
平成二六年　二月　八日　コミュニティ嵯峨野

全国大会
平成二五年　七月二〇日（土）
二一日（日）　（香川県）

近畿ブロック専門部会
平成二五年　八月一〇日　コミュニティ嵯峨野

近畿ブロック研修会
平成二五年一一月　九日　（福井県）

支部長会議
平成二五年　五月二六日　（東京）
平成二六年　二月一日・二日　（東京）

大阪府重症心身障害児・者を支える会役員名簿　◎２０１３，６，７現在

	役職	氏名		役職	氏名
1	会長	山村　寿子	9	運営委員	津垣　良隆
2	副会長	成田　憲子	10	〃	岡本　汎美
3	副会長	上田　敦子	11	〃	中谷　弘子
4	副会長	長谷川　幸子	12	〃	柳　晴美
5	会計	吉村　志津子	13	〃	森田　靖子
6	会計監査	平野　健三	14	〃	藤岡　咲子
7	運営委員	鈴木　祥子	15	〃	上野　葉子
8	〃	寺岡　冨子	16	〃	溝上　光邦

「 医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム 」開催ご案内

■趣　旨

・大阪府では、障がい児者が専門的医療や二次障害予防のための医療、さらには身近な地域で一般医療の範疇であるが、診療に一定のノウハウや配慮が必要な医療を受けられる体制づくりのため、障がい者地域医療ネットワーク推進事業が推進されています。しかしながら、平成２３年度に大阪府がネットワークに参画する医療機関等に行った調査結果から、①ネットワークの周知が必要　②医療機関に限らず、福祉サービスの情報、連携が必要等の課題が明らかにされています。

・一方、脳性麻痺等で重症心身障がい等医療的ケアが必要な障がい児者が地域で安心して生活を送るためには、地域で、必要な医療サービスと福祉サービスが利用できる支援体制が強く求められています。

・このような中、大阪府障がい者自立支援協議会において、重症心身障がい児者地域ケアシステムの整備方策が検討され、平成２５年度２月に検討報告書がまとめられ、今後、地域における医療と福祉が連携した地域ケアシステムの構築に向けて、行政はもとより、医療機関、障がい者福祉サービス事業所等が、相互理解を深め、協働して取り組まれることとなりました。

・このため、医療と福祉、行政、当事者等府民が一堂会し、今後の地域における医療と福祉の役割分担や情報交換のあり方等を協議することにより、相互理解を深め、協力体制づくりの一助とするためにシンポジウムを開催いたします。

■日　時　**平成２５年９月１２日（木）**

１０：００　～　受付
１０：３０　～　１２：００　基調講演
１３：００　～　１５：３０　シンポジウム
１５：３０　～　１６：００　質　疑　等
１６：００　　終　了

■会　場　**千里ライフサイエンスセンター**
ライフホール（「千里中央」駅下車）

■参加費　**無　料**（定員２００名）

■主　催　医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム実行委員会

■後　援（申請中）
大阪府、大阪府肢体不自由児者父母の会連合会、大阪府重症心身障害児・者を支える会

■協　力　一般社団法人　大阪薬業クラブ

■内　容

第１部　基調講演
「医療的ケアが必要な障がい児者を支える地域ケアシステムの構築に向けて」
～ 重症心身障がい児者地域ケアシステム検討報告 ～
講演： 大谷　悟　氏　（大阪体育大学健康福祉学部教授）

第２部　パネルディスカッション
テーマ　**「医療と福祉の役割分担と連携方策について」**
～ つなぎ役は、相互理解のためには ～
（コーディネーター）　大谷　悟　氏　（大阪体育大学健康福祉学部教授）
（パネリスト）
○高橋　和恵　氏（大阪府重症心身障害児・者を支える会会員）
○船戸　正久　氏（大阪発達総合療育センターフェニックス園長）
○岡村　富美子　氏（大阪府看護協会　副会長）
○浅野　壽一　氏（貝塚市障がい者生活支援センターあいむセンター長）
○田村　敦司　氏（東大阪市子どもすこやか部長）
○足立　百合奈　氏（大阪府健康医療部健康づくり課）

■申し込み・問い合せ先　大阪府重症心身障害児･者を支える会内　実行委員会
〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町5丁目15－28　育徳コミュニティーセンター2F
TEL.06-6624-2555／FAX.06-6624-2556／メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp

◎氏名、住所、電話、FAX、所属等記入の上、FAX、郵送、メールで実行委員会へお申し込みください。定員になり次第締め切りといたします。

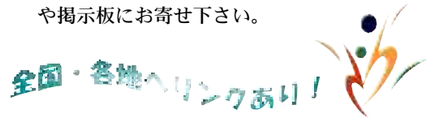
２０１３年度（平成２５年度） 収支予算書

収入の部 科目	金額	支出の部 科目	金額
41会費収入	1,070,000	31事務費支出	832,000
01正会員会費収入	970,000	01職員俸給	0
02協力会員会費収入	100,000	02職員諸手当	
42寄付金収入	300,000	03賃金	0
01寄付金収入	300,000	04法定福利費	
43事業収入	500,000	05旅費	130,000
01バザー収入	0	06消耗品費	20,000
02その他の事業収入	500,000	07器具什器費	10,000
44補助金収入	250,000	08印刷製本費	150,000
01地方公共団体補助金収入	0	09賃借料	360,000
02公益事業補助金収入	250,000	10会議費	50,000
45本部助成金収入	150,000	11修繕費	
01本部助成金収入	150,000	12通信運搬費	100,000
46雑収入	0	13手数料	2,000
01雑収入	0	14雑費	10,000
47設備資金借入金収入	0		
01設備資金借入金収入	0	32事業費支出	1,180,000
48引当金戻入	0	01研修会開催費	250,000
01修繕引当金戻入		02レクリェーション活動費	500,000
02備品等購入引当金戻入	0	03分会活動費	30,000
03人件費引当金戻入	0	04調査啓発事業費	50,000
49積立金戻入	0	05機関紙出版費	100,000
01建設積立金戻入	0	06その他の事業費	250,000
02その他の積立金戻入	0		
		33本部会費	580,000
		01本部会費	580,000
		34近畿ブロック会費	40,000
		01近畿ブロック会費	40,000
		35雑支出	24,605
		01慶弔費	15,000
		02雑支出	9,605
		36積立金繰入	
		01建設積立金繰入	0
		02その他の積立金繰入	0
		37引当金繰入	0
		01修繕引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金繰入	0
当期収入額計	2,270,000	当期支出額計	2,656,605
前期繰越金	689,605	当期繰越金	303,000
収入合計	2,959,605	支出合計	2,959,605

「支える会」事務局

〒５４５－００２１
大阪市阿倍野区阪南町５－１５－２８
育徳コミュニティーセンター２階
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長　山村　寿子
ＴＥＬ　０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ　０６－６６２４－２５５６
＜郵便振替＞　００９３０－９－６９５９８

支える会ホームページのご案内

ドメイン名　http://www.sasaeru.or.jp/
メールアドレス　osaka@sasaeru.or.jp

◎様々な御意見・御質問や情報をメールや掲示板にお寄せ下さい。